

1 単位時間の授業改善チェックポイント

国語

国語の授業の課題

- 1 学習課題とまとめが合っていない授業が見られます。
- 2 どの学年でも文学的な文章の教材を扱うときには、「気持ちを読み取ろう」という学習課題を提示している授業が見られます。
- 3 教師が示した「話し方・聞き方」「書き方」「読み方（読みの視点）」などに偏り、児童が相手や目的などを意識して言語活動に取り組んでいない授業が見られます。

授業改善のための取組として（案）

□ 言語活動の目的を明確にした学習課題を位置付け、まとめましょう。

- 国語科の学習課題は次の例を参考に設定する。
 - ① 単元の指導計画でどの部分的な言語活動を行うかを確認する。（部分的な言語活動を工夫する方法についてはコラム参照）
 - ② 部分的な言語活動とその目的がわかるよう、学習課題を設定する。
【学習課題例】
 - ・本の紹介をするために ・選んだ理由を考えながら ・印象的な場面を見付けよう
 - ◇必要な能力 ◇言語活動の目的 ◇部分的な言語活動
- まとめは、その言語活動を通してどのようなことがわかったのか、振り返ることができるようにする。上記の学習課題のまとめであれば、例えば、「場面や登場人物の気持ちが大きく変わるところ」「会話から気持ちが一番伝わる場所」などを板書で示す。

□ 学習の系統性を踏まえ、学んだことを活用する場面を位置付けましょう。

- 学習指導要領に示された指導事項（解説編 P 130 ～ 137）の系統性を踏まえ、児童がこれまでの学習で身に付けてきた「話す能力・聞く能力」「書く能力」「読む能力」などの国語の能力を確認する。
- 「学んだ文章の構成を使って書く」「前回説明的な文章を読んだ時に気を付けたことを思い出して読む」など、既習事項を活用して言語活動を行うよう指導する。

□ 言語意識（相手・目的・場面・方法・評価）を高める工夫をしましょう。

- 「誰に対して（地域の方々に）」、「何のために（学芸会に来てもらうために）」、「どのような方法で（ポスターで）」言語活動を行うかなどを明確に示す。
- 相手や目的、場面などにふさわしい表現や内容となっているか、振り返るよう促す。

【コラム】 部分的な言語活動の工夫
国語科の学習では、言語活動を通して指導事項を指導することから 単元を貫く言語活動を位置付け、学習過程の各段階における部分的な言語活動を工夫することが大切です。
【単元を貫く言語活動と学習過程の各段階における学習活動（部分的な言語活動）の例】

【単元の目標】
本を紹介するために、登場人物の性格や場面の移り変わりに注意し、本を選んだ理由を明らかにしながら読むことができる。（第3学年及び第4学年指導事項Cウ・カ）

【単元を貫く言語活動】
紹介したい本を選び、「好きな本発表会」で紹介すること（言語活動例エ）



<学習課程の各段階における学習活動（部分的な言語活動）>

- ・物語を読み、好きな場面を選ぶ。
- ・印象的な場面をとらえる。
- ・印象的な場面について理由を明らかにしながら説明する。
- ・別の物語を読み、好きな場面を選ぶ。
- ・紹介したい本を取り上げて説明する。